

[DAS 招待講演]

## EDA 分野におけるラボオンチップの最適設計に関する研究

山下 茂  
立命館大学

概要：

ラボオンチップ (Lab-on-a-chip) とは、半導体微細加工技術や微小流体制御技術を利用したマイクロデバイスである。ラボオンチップを用いると、実験室規模で行われていた生化学実験 (混合、反応、分離、検出など) の操作を、低コスト、高信頼かつ高スループットで行うことが可能となる。バイオチップの設計における最適化問題は、EDA の分野で研究されている多くの設計問題と類似点も多いため、近年 EDA の分野で盛んに研究されており、本講演ではその研究内容を紹介する。